

2016年度 20期生(新2年生)用 科目選択シラバス

2015年 1年学習指導部

全員履修する科目: 古典B(3)、現社(2)、体育(2)、保健(1)、コミュニケーション英語Ⅱ(3)、英文法(3)

■科目選択の注意事項

- (1) 進路や卒業後に必要な知識・能力をしっかりと考えた上で、2年生では18単位の科目を選択する。
(3年生では24単位) 例: 日本史Bは週4時間の授業があるので、4単位科目。
- (2) 選択科目18単位のうち、社会・数学・理科の必履修条件
 - 社会: 「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」のいずれか1科目を2年生または3年生で必ず選択し、履修すること。
 - 数学: 「数学Ⅱ一文」「数学Ⅱ一理」「数学Ⅱ一基礎」のいずれか1科目を必ず選択し、履修すること。
 - 理科: 「生物基礎一文+地学基礎」「生物基礎一理+科学と人間生活生物」「物理基礎+科学と人間生活物理」のいずれか2科目セットを必ず選択し、履修すること。

その他の注意事項

- (3) 受験科目として「日本史」「世界史」「地理」を選択する場合は、それぞれ2年生で、必ず「日本史B」「世界史B」「地理B」を選択すること。
※今宮高校の日本史は、日本史B＝原始～江戸時代、日本史A＝近現代に分かれています。大学受験科目の日本史Bは、原始～近現代すべてを含みますから、センター試験や私立大学受験で日本史Bが必要な人は、必ず2年生で「日本史B」を、3年生で「日本史A」を選択すること。
※今宮高校の「地理A」は入試の受験に対応していないので注意すること。
- (4) 「数学Ⅲ」が必要な人は2年生で「数学Ⅱ一理」と「数学B一理」を必ず履修する。
- (5) 理科の基礎なし「化学」「物理」「生物」が必要な人はそれぞれ2年で必ず「化学」、「物理基礎+科学と人間生活物理」、「生物基礎一理+科学と人間生活生物」を履修する。
- (6) 同一名の科目は2回選択できない。ただし、以下の科目は継続履修可能(2年連続選択可能)である。

【継続履修可能な科目】

「化学」「スポーツⅡ」「ダンス」「ライフスポーツ」「声楽」「器楽(ピアノ奏法中級上級)」

- (7) 2・3年合同科目で希望人数超過の場合は、3年生の希望者を優先して、調整する。
- (8) 希望者が10名未満の講座は、原則として開講しない。
- (9) 「現代文B」は必ず選択する。

■今後の予定

- 7/ 2 選択科目案内(シラバス)の配布・説明
夏休み中に自分の進路希望について考え、入試や進学後の勉強にそなえて必要な科目は何かを調べる。今宮高校2年次に取りべき科目をシラバスを読んで考える。
- 8/24 課題提出、予備調査表記入・提出
※ここで選択した科目が、そのまま本調査時に選択できるとは限りません。
- 8/27 科目選択 教科別説明会
- 9/17 群表の提示、質問会
選択希望調査開始
・9/30 中間調査締め切り
- 10/23 本調査用紙および群表配布(開講しない可能性のある科目の提示)
- 11/11 本調査締め切り
- 11月中旬 開講科目群の調整
・特定の科目に希望が集中したときに、微調整を行う。
・開講しない科目を選択していた生徒は再度、選択を行う。
- 12月上旬 来年度選択科目の決定

設備、教員の人数の関係により、以下の科目には定員がある

科目名	定員	科目名	定員	科目名	定員
国語表現	25人	声楽 ★	32人	楽しい書道A・B	26人
集中 考古学入門	15人	器楽 ★	14人	韓国・朝鮮語 ★	25人
スポーツⅡ ★	60人	美術探究Ⅰ ★	20人	イタリア語 ★	30人
ダンス ★	60人	デザイン実習 ★	22人	World Studies ★	30人
ライフスポーツ ★	40人	立体造形 ★	24人	子どもの発達と保育	21人
音楽鑑賞法演習 ★	30人	工芸実習 ★	18人	カウンセリング ★	23人

★は2・3年合同科目のため、3年生優先

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
20 期 2 年	古典B		現代 社会		コミュニ ケーショ ン英語Ⅱ			英文法		体育		保健	選択科目(18単位)																			L H R	総 合		

質問・相談は、担任もしくは教科、教務、進路の先生まで。

選択科目一覧

※ 丸数字は単位数。例えば、② は 2 単位科目を示す。

1. 国語

- 10 国語表現 ②
- 11 現代文B ②

2. 地理・歴史、公民

- 20 世界史B ④
 - 21 日本史A ②
 - 22 日本史B ④
 - 23 地理A ②
 - 24 地理B ④
 - 集中 考古学入門 ①
- ※ 夏季集中講座。2年次4月に受講生を募集

3. 数学

- 30 数学Ⅱ－文 ④
- 31 数学B－文 ②
- 32 数学Ⅱ－理 ④
- 33 数学B－理 ②
- 34 数学Ⅱ－基礎 ②

4. 理科

- 40 科学と人間生活物理 ②
- 41 科学と人間生活生物 ②
- 42 物理基礎 ②
- 43 生物基礎－文 ②
- 44 生物基礎－理 ②
- 45 地学基礎 ②
- 46 化学 ②（分割履修）

5. 体育

- 50 スポーツⅡ ②
 - 51 ダンス ②
 - 52 ライフスポーツ ②
- ※ 2・3年生合同科目

6. 芸術

60	音楽表現Ⅰ	②		
61	音楽鑑賞法演習	②	※	2・3年生合同科目
62	声楽	②	※	2・3年生合同科目 <u>継続履修可</u>
63	器楽（ピアノ奏法中級上級）②	②	※	2・3年生合同科目 <u>継続履修可</u>
64	美術探求Ⅰ	②	※	2・3年生合同科目
65	デザイン実習	②	※	2・3年生合同科目
66	立体造形	②	※	2・3年生合同科目
67	工芸実習	②	※	2・3年生合同科目
68	楽しい書道ⅡA	②		
69	楽しい書道ⅡB	②		

7. 外国語・英語・国際教養

70	英作文	②		
71	韓国朝鮮語文化研究	②	※	2・3年生合同科目
72	中国語文化研究	②	※	2・3年生合同科目
73	イタリア語文化研究	②	※	2・3年生合同科目
74	World Studies	②	※	2・3年生合同科目

8. 家庭

80	子どもの発達と保育	②		
----	-----------	---	--	--

9. 生命科学・工学

90	看護・福祉	②	※	2・3年生合同科目
91	カウンセリング入門	②	※	2・3年生合同科目

10. 情報

92	情報の科学	②		
----	-------	---	--	--

【国語】

10 国語表現 ② 2年

目標	文章を的確に理解し、表現する能力を身につけ、表現する楽しさを味わう。
内容	俳句・短歌・詩・小説・意見文からプレゼンテーションまで、いろいろな型の表現方法を学び、表現する力を磨いていく。
対象	表現する力を磨きたい者。書くことの楽しさを味わいたい者。 (定員25名)
評価	提出物を重視し、授業態度、出席状況を考慮して評価する。

11 現代文B ② 2年

目標	1年次の『国語総合』の現代文の学習を受けて、優れた作品を通し、読解力・鑑賞力・表現力を高め、深める。
内容	1年次から発展してさらに高度な作品を中心に学習する予定である。
対象	全ての生徒が選択することが望ましい。
評価	定期考査を重視し、授業態度・出席状況・提出物を考慮して評価する。

【地理・歴史、公民】

20 世界史B ④ 2年

目標	アジア各地やヨーロッパなど世界の各文化圏の形成過程や特色を学び、社会人としてふさわしい知識教養を身につけ、広い視野を養うとともに、大学入試レベルの問題に必要な知識を身につける。
内容	古代から現代までの歴史を、ビデオや雑誌、その他の資料をふんだんに使って授業を進める。 今の世界はどういう過程でできあがってきたのか、東西文化の交流など、人類の多様な営みをいろいろな角度から学ぶ。 単に昔の事を学習するだけでなく、現在の私たちの生活とどうつながっているのか、を考えながら授業を進める。 さあ、「歴史の扉」を開けましょう。
対象	世界史A・Bで大学受験を考えている生徒。歴史・芸術・文化・国際関係に関心のある生徒、または進学を考えている生徒。
評価	定期考査の成績と平常点（平常点は、提出物・出席点・態度点など）から総合的に判断する。

21 日本史A ② 2年

目標	明治維新以降、日本が歩んだ歴史を政治・外交・経済を中心に学び、社会人としての知識教養を身につけ、未来を主体的に生きる資質を養う。
内容	明治維新：欧米のアジア侵略と日本社会の動向、開国の影響と統一国家形成、諸制度の改革がいかに遂行されていたかを理解する。 自由民権運動：その展開と発展、立憲体制成立への過程を考える。 二つの対外戦争：日清・日露戦争、資本主義の発展と社会運動の発生などを国際関係とともに考察する。 二つの世界大戦：第一次大戦と中国侵略がどのように進められたか。政党政治の挫折と軍部の台頭はどのような過程をたどったか。日中戦争、アジア太平洋戦争はいかに遂行されたか。戦時下の社会を考えてみる。 現代の日本：敗戦と占領はどのように行われたか。憲法制定による新しい社会の実現と、経済再建や高度経済成長の有様、新しい国際経済秩序の中での日本の役割を考える。 これらの内容を中心に学習します。 独自の歴史と伝統をもつ日本の歴史は、近現代に入ると急速に国際社会の中での歴史が展開していく。19世紀に立ち返り、明治維新や日清・日露戦争などがどのような国際関係や国内情勢の中でおこり、そこに形成された近代日本がいかなる発展をとげたのか、そしてどのように敗戦を向かえ、また廃墟からいかに立ち上がって発展してきたか、これらのことで日本はアジアや世界の中でどのようにふるまったのか、これからどう歩むべきか、等を考えていきたい。
対象	理系進学希望者で、政経、政経・倫理、日本史Aでセンター試験の受験を考えている人は、2年次で選択するのが望ましい。 日本史Bでセンター試験や私立大学受験を考えている人は、3年次に必ず選択すること。（3年次の日本史Aは2年次とほぼ同内容です）
評価	授業態度の状況、出席状況、考査の成績、レポートなどについて、その意欲・関心・態度などを総合的に判断する。

22 日本史B ④ 2年

目標	日本の歴史の展開を世界史的視野に立って総合的に学ぶことによって、日本の文化・伝統について認識を深め、歴史的思考力を養うとともに、大学入試問題に必要な学力を身につける。
内容	黎明期：最近の考古学の成果を取り入れながら、東アジア世界の中での倭国の動向を考える。 古代：律令国家の形成と展開、そして衰退の過程を考察する。 中世：武家社会の成立とその成長、庶民の成長について考える。 近世：幕藩体制の成立、動揺、崩壊を中心に考察する。 原始から江戸時代までこのような内容を中心に学習します（明治時代以降の近現代史は日本史Aで学習します）。 学習は世界史的視野に立って、各時代の特色・変化を考察し、歴史的な見方や考え方を身に付けるために、副教材である「図説」や「史料集」などを大いに活用し、さまざまな人物や事件、エピソードなどを取り上げ、深く詳しく学習します。
対象	文系進学希望者で、日本史Bでセンター試験や私立大学入試の受験を考えている人は、必ず選択すること（3年で日本史Bは開講しません）（4単位の授業なので、授業の進度が早いことに留意して下さい。）
評価	授業態度、出席状況、定期考査、レポートなどを総合的に評価する。

23 地理A ② 2年

目標	世界の諸地域を学習し、現代の世界が抱える様々な問題について考え、グローバルな視野を形成することを目指す。
内容	世界の諸地域の様子を幅広く学習する。
対象	現代の社会や国際問題などに関心のある人も受講するとよい。 この『地理A』の授業は受験に対応していません。センター入試等で『地理A』での受験を考えている人は、必ず『地理B』を選択すること。
評価	定期考査、レポート、提出物等を総合的に考慮する。

24 地理B ④ 2年

目標	地理的な視点・知識を学ぶ中で、グローバル化した世界で起こっている様々な問題に触れ、その解決に向け原因を探り、行動すべき課題を認識する。
内容	自然と人間との関わりを、世界の地形、気候、資源と産業などを交えて学ぶ。 グローバル化する世界を総合的に捉えるために、情報、経済、人々の交流などを、世界の諸地域の学習と合わせて学ぶ。 都市や居住、人口問題、環境・エネルギー問題といった世界の諸課題についての理解を深める。
対象	センター試験をはじめ、地理A、地理Bでの受験を考えている人。 なお、私立大学で受験する場合は、受験科目に地理Bが含まれているかを各自で確認すること。
評価	定期考査、授業中の地図などの課題、プリント提出、宿題、小テストなどを総合的に考慮する。

集中 考古学入門 ① 2年 夏期集中講座

目標	発掘体験・博物館実習・遺跡見学などを通じて、地域社会への関心を深め、埋蔵文化財の大切さを理解できる力を養う。 埋蔵文化財に触れることで歴史認識を深め、あわせて考古学の方法や技術の初歩を学ぶ。
内容	夏期休暇中8月上旬の5日間、午前9時から午後4時30分までの実習を、大阪府文化財センターの協力のもとに実施する。 例年の内容は、考古学の講義・発掘調査実習（遺構の掘削・測量、土器の洗浄・接合・注記、実測など）・博物館見学・展示実習・遺跡見学・体験学習（実験考古学）など。年によって内容は異なり、調査現場の状況で発掘調査実習が実施できないこともある。 実習前に考古学見学会と説明会をおこないレポートを作成する。また実習後もレポートを作成し、提出する。 さらに文化祭において、「私たち、考古学に入門しました」として、パネル展示で成果を発表する。
対象	考古学・博物館・発掘調査などに興味・関心のある生徒で高校生としてのマナーが守れる人。 炎天下での屋外実習をとまなうことを承知しておいてください。
評価	埋蔵文化財に対する関心・興味、発掘調査における意欲・態度、講義に対する意欲・関心・理解する能力などについて総合的に評価する。また実習・見学会・説明会の参加態度、レポートの内容、文化祭の展示・作成についても評価に加える。
備考	事前説明会・考古学見学会・夏期の実習・文化祭準備に皆勤で参加できる生徒。（定員15名以下）

【数学】

30 数学Ⅱ一文 ④ 2年

目標	「式と証明」「複素数と方程式」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数・対数関数」「微分と積分」の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。
内容	数学Ⅱは、数学Ⅰに引き続き、高校数学の根幹をなす科目です。「式と証明」「複素数と方程式」「図形と方程式」「三角関数」「指数・対数関数」「微分と積分」を教科書中心に学習し、問題集、参考書を使って演習を行います。
対象	文系大学等へ進学する人で、数学Ⅱまで必要な人。
評価	定期考査と平常点（小テスト、提出物など）。

31 数学B一文 ② 2年

目標	「ベクトル」「数列」について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する能力を育てる。
内容	数学Bは、「ベクトル」「数列」を教科書中心に学習し、問題集・参考書を使って演習を行います。
対象	文系大学等へ進学する人で、数学Bまで必要な人。
評価	定期考査と平常点（小テスト、提出物など）。

32 数学Ⅱ一理 ④ 2年

目標	「式と証明」「複素数と方程式」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数・対数関数」「微分と積分」の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。更に数Ⅲの内容にも触れ、大学入試などの記述式問題に対応できるようにする。
内容	数学Ⅱは、数学Ⅰに引き続き、高校数学の根幹をなす科目です。「式と証明」「複素数と方程式」「図形と方程式」「三角関数」「指数・対数関数」「微分と積分」を教科書中心に学習し、問題集、参考書を使って演習を行います。更に数Ⅲの内容も勉強します。
対象	理系大学志望者及び文系大学でも記述式問題を必要とする者。
評価	定期考査と平常点（小テスト、提出物など）。
備考	必ず『数学B一理』を同時に選択すること。

33 数学B一理 ② 2年

目標	「ベクトル」「数列」について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する能力を育てる。さらに大学入試などの記述式問題に対応できるようにする。
内容	「ベクトル」「数列」を教科書主体で学習し、問題集・参考書を使って演習を行います。 更に数学Ⅲの内容も勉強します。
対象	理系大学志望者及び文系大学でも記述式問題を必要とする者。
評価	定期考査と平常点（小テスト、提出物など）。
備考	必ず『数学Ⅱ一理』を同時に選択すること。

34 数学Ⅱ一基礎 ② 2年

目標	「式と証明」「複素数と方程式」「図形と方程式」「三角関数」「指数関数・対数関数」「微分と積分」の基本を学習し、「数学Ⅰ・A」の復習により知識の定着を目指す。第3学年で「数学ⅠA演習」を選択する際にスムーズに入試問題に対応できるようにする。
内容	「数Ⅰ・数A」の内容を確認しながら、「数Ⅱ」の基本的な概念を理解し問題演習を行う。傍用問題集は主に基本問題を授業中の演習・自宅学習用の課題として扱う。
対象	文系大学等へ進学する人で、数学Ⅱまでは必要としないが「数Ⅰ・数A」を必要とする者。
評価	定期考査と平常点（小テスト、提出物など）。

【理科】

40 ～ 41 科学と人間生活 ② 2年

目標	生活の中での「科学」の役割について学ぶ。
内容	「科学と人間生活(物理)」は物理関連の内容を重点的に行う。「科学と人間生活(生物)」は生物関連の内容を重点的に行う。
対象	「物理基礎」選択者は、「科学と人間生活(物理)」を <u>必ず</u> 選択すること。 「生物基礎－理」選択者は、「科学と人間生活(生物)」を <u>必ず</u> 選択すること。
評価	定期考査、平常点（提出物、小テスト等）

42 物理基礎 ② 2年

目標	「運動とエネルギー」「波」「電気」などについて学びながら物理的なものの見方、考え方を養う。
内容	物理は、自然界の最も基本的な法則を学習する科目です。 具体的には、次のような内容を順を追って学びます。 ・運動とエネルギー（速度と加速度・力とそのはたらき・運動の法則・仕事とエネルギー） ・波（波の伝わり方・音の性質・発音体の振動と共振共鳴） ・電気（電流と電気抵抗・電機とエネルギー・交流・電磁波） また、物理を学習するためには、文字計算など数学の初歩的知識やいろいろな概念を理解する基礎的な国語力が必要です。
対象	物理学について学びたい人
評価	定期考査
備考	「科学と人間生活（物理）」を必ずとること。

43 生物基礎－文 ② 2年

目標	生物基礎の基本的内容を系統的に学習し、正しい自然観を身につける。合わせて大学入試に対応できる力を身につける。																			
内容	教科書に沿って次の内容を学習する。 <table><tr><td>1. 生物の特徴</td><td>・生物の共通性</td><td>・生命活動とエネルギー</td><td>・生体内のエネルギー変換</td></tr><tr><td>2. 遺伝子とのはたらき</td><td>・生物と遺伝子</td><td>・遺伝子の均等配分</td><td>・タンパク質の設計図</td></tr><tr><td>3. 生物の体内環境の維持</td><td>・体内環境の維持</td><td>・体内環境を保つしくみ</td><td>・体内環境を守るしくみ</td></tr><tr><td>4. 生物の多様性と生態系</td><td>・植生の多様性</td><td>・気候とバイオーム</td><td>・生態系とその保全</td></tr></table>				1. 生物の特徴	・生物の共通性	・生命活動とエネルギー	・生体内のエネルギー変換	2. 遺伝子とのはたらき	・生物と遺伝子	・遺伝子の均等配分	・タンパク質の設計図	3. 生物の体内環境の維持	・体内環境の維持	・体内環境を保つしくみ	・体内環境を守るしくみ	4. 生物の多様性と生態系	・植生の多様性	・気候とバイオーム	・生態系とその保全
1. 生物の特徴	・生物の共通性	・生命活動とエネルギー	・生体内のエネルギー変換																	
2. 遺伝子とのはたらき	・生物と遺伝子	・遺伝子の均等配分	・タンパク質の設計図																	
3. 生物の体内環境の維持	・体内環境の維持	・体内環境を保つしくみ	・体内環境を守るしくみ																	
4. 生物の多様性と生態系	・植生の多様性	・気候とバイオーム	・生態系とその保全																	
対象	文系で理科のセンター試験科目の一つとして「生物基礎」を考えている生徒。																			
評価	定期考査、平常点（提出物、小テスト等）。																			

44 生物基礎－理 ② 2年

目標	生物基礎の基本的・発展的内容を系統的に学習し、正しい自然観を身につける。合わせて大学入試に対応できる力を身につける。
内容	教科書に沿って次の内容を学習する。 1. 生物の特徴 2. 遺伝子とそのはたらき 3. 生物の体内環境の維持 4. 生物の多様性と生態系 ・生物の共通性 ・生物と遺伝子 ・体内環境の維持 ・植生の多様性 ・生命活動とエネルギー ・遺伝子の均等配分 ・体内環境を保つしくみ ・気候とバイオーム ・生体内のエネルギー変換 ・タンパク質の設計図 ・体内環境を守るしくみ ・生態系とその保全 「生物基礎」の基本的な内容に加え、「生物」の内容にも触れながら学習を進めていく。
対象	理数系（理学・農学・薬学・工学の一部など）、生活科学系、看護系などの進路を希望する生徒。
評価	定期考査、平常点（提出物、小テスト等）。
備考	「科学と人間生活（生物）」を必ずとること。

45 地学基礎 ② 2年

目標	地学基礎の基本的内容（地球分野・気象分野・天文分野）を学習し、正しい地球観を身につける。合わせて大学入試に対応できる力をつける。
----	--

内容	教科書に沿って次の内容を学習する。 1 固体地球とその変動 地球の概観と内部構造、プレートテクトニクス、地震と活断層、マグマの活動と火山、火成岩と鉱物、流水の働きと堆積岩 2 地球の歴史 地質調査の仕方、地層と化石、地球の生い立ち、生命の誕生と進化、生物の大量絶滅 3 大気海洋と気象 大気圏と大気の大循環、水蒸気と雲、風、日本の天気と四季、観天望気、地球温暖化、海洋とその運動、エルニーニョ現象 4 宇宙の構成 太陽と太陽系、惑星の運動と運動の法則、四季の星座と恒星、恒星の誕生と進化、銀河や宇宙の構造、宇宙論
対象	文系で理科のセンター試験科目の一つとして「地学基礎」を考えている人。
評価	定期考査、平常点（提出物、小テスト等）。

46 化学

② 2年

目標	物質の状態変化、状態間平衡、化学反応に伴うエネルギー及び無機物質について学習する。4単位科目であるので、前半部分を学習する。
内容	・無機化合物 ・有機化合物 ・気体の法則 ・熱化学方程式とエネルギー 理論的な内容が中心で、計算力が必要。無機物質については性質を覚えるだけでなく、反応式が重要になる。
対象	大学の理工学部（工学系・理学系・生活科学系・薬学系）に進学を希望する生徒。・看護系を希望する生徒の内、特に「化学」が必要な生徒
評価	定期考査、実験などのレポート、平常点（提出物など）

【体育】

50 スポーツⅡ ② 2・3年合同

目標	競技の特性を理解し、これらのスポーツの高度な技術と戦術を理解し、習得する事によってより高度なゲームができる能力を養う。 またそれぞれの競技規則を学び審判技能の習得を目指すとともに、協力と責任分担を明確にし自分たちでゲームを運営できる能力と態度を養う。
内容	(1) バスケットボール (2) ハンドボール (3) サッカー (4) ソフトボール (5) バレーボール (6) テニス (7) 卓球 (8) バドミントン (9) アルティメット (10) ソフトバレー 但し、希望者が少ない種目については実施出来ない事もある。
対象	興味・関心があり、積極的に取り組む人。実技科目。
評価	・各種目の技術と戦術を理解し、習得する努力をしているか。 ・それぞれの競技規則を学び審判技能を習得しているか。・協力し責任分担をして自分たちでゲームが運営できているか。 ・欠席、遅刻がなく、マナーを守って活動できているか。
備考	定員 2・3年合わせて60名。継続履修可能

51 ダンス ② 2・3年合同

目標	ダンスの特性について理解し、ダンスウォームアップを充実習得し、さらに高度な技能の習得を目指すとともに、仲間とのコミュニケーションを図りながら、創造的な表現などの能力と鑑賞力を養い作品創作と舞台での発表を目標とする。
内容	1. ダンスウォームアップ 心と体をほぐし、ダンス的ストレッチ、ビートリズムにのるステップ、エアロビクスなどの基礎トレーニングを図る。 2. 選択者全員による作品発表 ジャンルにとらわれない指定された作品を集団を意識して、全員で踊る。 高度な技術を習得し、連帯感を高めながら時間をかけて練習し、発表に取り組む。 3. グループでの創作発表 創作ダンス、モダンダンス、ヒップホップ、ジャズダンス、などグループで選択した音楽リズムにのって、工夫したオリジナルの動きを構成や演出を加えて発表する。
対象	音楽を使用しての身体表現に興味・関心を持ち、創造的な表現等の能力と鑑賞力を育てたい者。実技科目。
評価	・自主的、自発的な学習に意欲的に取り組んでいるか。・発表に向けて、内容・演出の工夫などができているか。 ・欠席、遅刻がなくマナーを守って活動しているか。
備考	定員 2・3年合わせて60名 , 継続履修可能

52 ライフスポーツ ② 2・3年合同

目標	生涯教育・スポーツを念頭に、運動する喜びや楽しさを実感し、協力して運動する態度を養うとともに、健康増進と体力の向上を図る。
内容	レクリエーション的なスポーツの理論と実践 1. ターゲットバードゴルフ 2. インディアカ 3. ソフトバレーボール 4. フリスビー (ゴルフ・アルティメット) 5. タッチフット 6. セパタクロウ 7. キックベースボール 8. ゴルフ 9. その他…テニス・卓球・バドミントン・ 水泳・縄跳び・竹馬・一輪車・ジョギング・ペタンク・ドッジボール・フットサル・ソフトラクロスなど
対象	生涯スポーツに対して興味・関心があり、自主的・自発的な学習に意欲的に取り組める者。実技科目。
評価	・自主的・自発的な学習に意欲的に取り組んでいるか。・班の全員が楽しめるように工夫し協力しているか。 ・欠席、遅刻がなく、マナーを守って活動できているか。
備考	定員 2・3年合わせて40名 , 継続履修可能

【芸術】

60 音楽表現Ⅰ ② 2年

目標	音楽する喜びを大切に、今までの音楽体験で得た知識や技術を更に発展させ、多様な音楽作品に対する理解力と表現力を養う。
内容	・歌唱表現…呼吸法・発声法・独唱・重唱・合唱 ・器楽表現研究…リコーダー・ギター・キーボード・鍵盤打楽器等の奏法研究・それらを組み合わせたアンサンブル発表 ・ビデオDVD学習…関連曲の鑑賞や演奏家のドキュメンタリーの他、広く音楽に関係する映像の鑑賞 ◎混声・同声3部唱、器楽実習、アンサンブル、自由演奏発表 *文化祭で発表あり
対象	新2年生が対象。
評価	出席、表現意欲を重視します。授業内発表、鑑賞記録提出あり。 2年生で選択すると、3年生では選択できません。

61 音楽鑑賞法演習 ② 2・3年合同

目標	音楽の歴史的な流れをたどり、時代と音楽のかかわりを感じ取る。また世界各国の様々な音楽を聴き、地域性や文化、表現の違いを感じ取る。色々な演奏家、音楽家、アーティストの生涯と作品を知り、オペラ、バレエなどの舞台芸術作品、ミュージカル映画などに親しむ。
内容	音源、映像を用いて地球上の多様な音楽を聴き、普段聴いている音楽との違いを知る。芸術家の作品と生涯、舞台芸術、映画を自分なりにどう感じるかを考える。
対象	色々な音楽に興味、関心がある人。自分の感動を自分の文章で表現できる人。
評価	出席率・興味・関心・意欲・態度・感想文をあわせて評価します。
備考	定員30名。2年生で選択すると、3年生では選択できません。

62 声楽 ② 2・3年合同

目標	人間の声帯が持つ素晴らしい能力に着目し、声による表現を追求しよう。
内容	・腹式呼吸法のトレーニングとソルフエージュ ・発声法の講義と実習 ・コンコーネ50番 ・合唱演習を通じて美しい声を作る ・ポピュラーソングやゴスペルなども取り上げる
対象	歌の好きな人ならオールOK。 基礎基本を充分に学びたい人
評価	出席率、表現意欲、授業態度を重視します。
備考	定員32名。曲によってはテキスト代実費。継続履修可。文化祭等で発表あり。

63 器楽（ピアノ奏法中級上級）② 2・3年合同

目標	専門家のレッスンを継続的に受けて、ピアニストの卵になろう！
内容	現役ピアニストによる専門的なレッスンを展開する。 ランチタイムコンサート等、公開音楽会に常時出演し、度胸と実力をつける。 ◎指導予定教材：ツェルニー40・50練習曲、バッハ平均律、スケールとアルペジオ、コルトー合理的な基礎練習、モシユコフスキーエチュード、ショパンエチュード、モーツァルト・ベートーベンソナタ、ロマン派・近現代曲（ドビュッシー・邦人作品等）
対象	希望者多数の場合は面談による調整をします。
評価	出席率、表現意欲、授業態度を重視します。
備考	定員14名。テキスト代実費 継続履修可

64 美術探求 I ② 2・3 年合同

目標	油絵、版画の分野に取り組み、観察力・自己表現力・鑑賞能力を身につける。
内容	●1 学期は、油絵の基礎・表現方法を学び、静物画を描く。 ●2 学期は、デザインしたイラストを版画の技法でミニトートバッグにプリント。油絵を用い自由テーマの絵を描く。 (教材内容変更あり)
対象	絵画・版画に興味がある人、絵がうまくなりしたい人、 美術系進学希望者(絵画)は必須 。 インテリア・保育・美容系進学希望者は選択するほうが望ましい(要相談)
評価	作品の内容、授業への出席、取り組みの姿勢などによって評価をする。
備考	定員20名、継続履修不可。教材費…4、000円程度徴収。

65 デザイン実習 ② 2・3 年合同

目標	デザインの基礎・応用。デッサン・透視図法・製図・色彩センス・思考力・鑑賞能力・プレゼン力を身につける。 ※デザイン(対象者を設定し機能性と装飾性のバランスを考え、デザイン・設計、制作を行うこと)
内容	●1 学期はデッサン基礎・色彩ポスター ●2・3 学期は、箱のパッケージデザイン制作、ユニバーサルデザイン(誰でも使える)模型制作など。(教材内容変更あり)
対象	デザインに興味・関心がある人、 建築・店舗設計・インテリア系進学希望者は必須 。美術系学校進学希望者は選択するほうが望ましい(要相談)
評価	作品の内容、授業への出席、取り組みの姿勢などによって評価をする。
備考	定員22名。継続履修不可。教材費…3、000円程度徴収。

66 立体造形 ② 2・3 年合同

目標	立体造形の基礎と応用。ものの構造、素材(線・面・塊)の特徴・扱い方を学び、考える力・つくる力・造形センスを養う。
内容	紙(複数)の造形基礎・応用課題、粘土による彫刻立体、針金・スタイロフォームによるモビール(吊るす立体)他 (教材内容変更あり)
対象	ものを作ることが好きな人、立体・構造物に興味のある人、 建築、店舗設計、美術系進学希望者は必須(要相談) インテリア・保育・美容系は選択するほうが望ましい(要相談)
評価	作品の内容、授業への出席、取り組みの姿勢などによって評価をする。
備考	定員24名、継続履修不可。教材費…3、000円程度徴収。

67 工芸実習 ② 2・3 年合同

目標	身近にある様々な素材で、実用的に使えるもの作りをする。素材の特性を知り、工芸の基礎知識・技法を学ぶ。
内容	様々な素材を用いて、使う人や使いやすさを考え、デザイン・設計・制作をする。 木彫スプーン、藍染のハンカチ、スタンドグラスのミニコースター制作など (教材内容変更あり)
対象	粘り強く、ものづくりが好きで、体力があり 欠席しない人 。(完成しなかった場合は居残りあり) 美術系(デザイン・工芸)、建築系進学希望者は必須 。店舗設計・インテリア・保育系進学希望者は選択するほうが望ましい(要相談)
評価	作品の内容、授業への出席、取り組みの姿勢などによって評価をする。
備考	定員18名、継続履修不可。★教材費は…3、000円程度徴収。

68 楽しい書道ⅡA ② 2年

目標	文字の造形感覚を養い、生活に役立つ書に高める。
内容	古代文字から、書表現の多様性を学び、アートとしての文字造形を考える。 アートの意識を持って、漢字創作や漢字仮名交じり創作を行う。
対象	書道Ⅰをとった人も、とらなかった人も受けられる。
評価	主に授業への出席、取り組みの姿勢、作品の内容などによって評価する。
備考	定員26名、教材費・・・3000円(用具用材は全て支給します。)

69 楽しい書道ⅡB ② 2年

目標	今までに未体験の書体に触れ、文字の変遷の歴史を知りながら、技術・創造性・感性を古代人から学ぶ。
内容	書道Ⅰでは扱わなかった書体（篆書や隸書）を学び、主体的に作品を制作する。 古典を生かした、漢字創作や漢字仮名交じり創作を行う。
対象	書道Ⅰをとった人も、とらなかった人も受けられる。
評価	主に授業への出席、取り組みの姿勢、作品の内容などによって評価する。
備考	定員26名、教材費・・・3000円(用具用材は全て支給します。)

【外国語・英語・国際教養】

70 英作文 ② 2年

目標	1年で学習した文法事項の定着をはかると共に、構文を手がかりに英文の構造を理解し、英文を正しく読み取ったり、場面・目的に応じて英語で表現する力を伸ばす。
内容	文法・構文問題集を使用 ・語順・時制・助動詞・態などの、基本的文法事項が示す意味を確かめながら、英作文の基本的なルールを身につける。 ・構文、熟語などを確認しながら、それらを使った文章の読み取り、表現ができるように練習する。
対象	大学受験に向けて、文法事項の定着を図りたい人、英語の構文を理解して正しく英語で表現する能力をつけたい人。入試科目に英語がある人はできるだけ取ること。
評価	定期考査、小テスト、提出物 等。

71 韓国朝鮮語文化研究 ② 2・3年合同

目標	歴史的にも、地理的にも一番関係の深い隣国の言葉の学習を通して、韓国の文化、社会に触れ、日本と同じアジア文化圏にあることを認識し、バランスの取れた国際理解を深める。
内容	語順など文法は日本語と瓜二つ。英語が苦手なあなたには嬉しい外国語。一見難しそうなハングル文字も、短期間でマスターできます。嬉しい発見の連続だ！ *ハングル文字を正確に読み書きできるようにする。 *挨拶や自己紹介などの簡単な会話力をつける。 *韓国語の基本的な文法を習得し、以降自主学習を続けていけるようにする。 *韓国の文化芸能生活食事などの紹介もする。
対象	韓国朝鮮語に興味があり、初歩から学びたい人。
評価	授業内の小テスト、課題提出などから総合的に行う。
備考	<u>定員25名この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

72 中国語文化研究 ② 2・3年合同

目標	我が国の文化や歴史に大きな影響を与え、今後も交流がますます密になると予想される中国のことばを学ぶ。自分の言いたいことを中国語で伝える基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図れるようにする。
内容	日本語と同様に漢字を用いた言葉だけれど、発音の方法は全然違います。舌を巻いて発音したり、歌うように声の調子を変えたり、と、他の言語とは一味もふた味も違う中国語の世界に、熱烈歓迎！！ *中国語の発音をきれいにできるよう練習…韻母、声母、介母など／声調 *文法の理解 *様々な場面での中国語の表現…自己紹介、レストランにて、学校紹介 *中国の文化、習慣、事情の紹介と理解…挨拶、正月、人口、自然など
対象	中国語に興味があり、初歩から学びたい人。
評価	聞き取りテスト、発音テスト、授業中の発表、宿題等から総合的に判断。
備考	<u>この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

73 イタリア語文化研究 ② 2・3年合同

目標	イタリア語の基礎を学習しながら、イタリアの地理や文化についての理解を深める。
内容	1. イタリア語を勉強するとよい事があります。難しい英単語の意味がわかりやすくなります。難しい英単語の語源はやさしいイタリア語だからです。たとえば、イタリア語の vero 「真実の」が英語では、very 「真に、とても」、verify 「真実であることを証明する」です。その他の例も挙げましょう。 *なぜ、No.1 と書き、Nr.1 と書かないのか？イタリア語で数は numero です。 *なぜ、fine は「みごとな、完成された」なのか？イタリア語で fine は「終わり、究極」です。これを知っていると、難しい英単語の意味も覚えやすくなります。 define 終わりをはっきりさせる→「～を限定する、定義する」 finite 終わりがある→「限定された、有限の」 fine 論争を終わらせる→「罰金」です。 *なぜ、amateur が「愛好家」なのか？ amare は「愛する」という意味です。 *なぜ、annual が「1年の」なのか？ anno は「年」という意味です。 *なぜ、dormitory が「寮」なのか？ dormire が「眠る」、すなわち dormitory は「眠る所」です。 *なぜ、parlor が「居間」で、parliament が「議会」なのか？ どちらも parlare「話す」場所です。 *なぜ、library が「図書館」なのか？ libro は「本」という意味です。 *なぜ、a canine が「犬歯」なのか？ cane は「犬」という意味です。 2. イタリア語はヨーロッパの言語の中で最も学びやすい言語です。 *発音がローマ字読みで簡単。日本語を母語にする人には最適！ *イタリア語は700時間で習得できるとも言われています。 *動詞は6通りに活用しますが、決まっているので音読して覚えれば大丈夫です。
対象	魅力的な科目ですので、受講者の制限は難しいです。 *ペアワークの発音練習をいやがらずにやれる人、下手でもいいから楽しんでcanzoneを歌える人、英語の語源に興味のある人、イタリア語・イタリアの文化や芸術に興味のある人。
評価	テストおよび授業中の取り組み。
備考	<u>定員は30名、この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

74 World Studies ② 2・3年合同

目標	世界と自分のつながりに気づき、世界の諸課題に対する関心を高め、国際社会に暮らす「地球市民」としての素養を育てることを目標にします。
内容	・講義よりも体験学習やグループワークを中心に授業を進めます。 ・ワークショップを体験することによりグローバル化の功罪について学びます。 ・日本の国際化について考えるために、日本に暮らす外国人の問題についても考えます。 ・国際協力について学ぶために、国際的な活動をしているNGOや、国際協力を学んでいる大学生との交流も計画しています。
対象	国際関係の学部や学科に進学を希望する人。将来、国際協力に関わる仕事をしたいと思っている人。国際関係に興味のある人。
評価	定期考査は実施しません。出席状況や授業への取り組み姿勢、レポート・課題などの提出物などで評価します。
備考	<u>定員は30名程度、この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

【家庭】

80 こどもの発達と保育 ② 2年

目標	1. こどもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、こどもの発達や子育て支援に寄与する能力を身につける 2. 子育ては家庭内だけでなく、地域、国や地方公共団体、企業などが様々な支援を行っていることを理解する。
内容	1.乳幼児の保育環境(大人との関係性)が、児童期・青年期・成人期を生きる上で、非常に大きな影響を受けることを理解し、保育の大切さを学習する。 2.こどもの発達と遊びの関係を理解し、児童文化財について研究する。 実習：名札、マスコット、布絵本作成、おやつ作り、 3.夏季休業中に各自で保育所等のボランティア体験に参加し、学習したことを発表する。 4.冬季休業中に受講生全員で保育所実習に参加し、学習したことを発表する。
対象	幼児教育・保育関係への進学を予定している者。幼児教育・保育関係の学習に興味のある者。
評価	定期考査、授業・実習への取り組み、提出課題、出席状況などを評価する。
備考	定員21名、実習費として1500円程度徴収する。

【生命科学・工学】

90 看護福祉 ② 2・3年合同

目標	生命と健康の価値を実感し、社会で不可欠とされる看護福祉の現状と基礎的知識を学ぶ。自己の日常生活を振り返り、Quality of Life について考え、進路を決定する際の糧とする。
内容	自己、或いは自己を取り巻く社会全体の心身の健康を維持する大切さ、システム、方法論を学ぶ。 体験的学習を通して、各職種の社会的役割、存在意義をイメージし、自己の適性について、考える機会とする。
対象	保育、看護、医療、福祉等の進路を目標とする人。
評価	授業の取り組み、理解の度合い、レポートなど。 <u>この科目を1度履修した人が、2度目の履修をすることはできません。</u>

91 カウンセリング入門 ② 2・3年合同

目標	まず自己理解を進め、その上で他者を理解し、より良い人間関係を築くためのスキルを学びます。最終的に、自他に対するカウンセリング能力を身につけることを目標とします。
内容	・講義よりも対人関係ゲームやペアワーク、グループワークを中心としたアクティビティからなる参加型授業です。 ・様々なアクティビティを通して、自分の思考と行動のパターンに気づき、不合理な考え方があればどう改善すればよいか考えます。 ・「さわやかな自己主張」ができるコミュニケーション能力のトレーニングをします。 ・話を聴く技術を身につけます。 ・授業後、「元氣になれたな」と感じることでできる時間になることを目指します。
対象	系列について特に制約はありませんが、心理・福祉・教育・医療関係の学部や学科に進学を希望する人。
評価	定期考査は実施しません。出席状況や授業への取り組み姿勢、レポート・課題などの提出物などで評価します。
備考	定員は23名 時間帯は、午後の2時間連続。講師の都合により、開講できない場合があります。 継続履修不可

【情報】

92 情報の科学

② 2年

目標	コンピュータの中で情報がどのように処理されているか、基礎的なことを理解するのを目標とする。
内容	コンピュータの基本的な内部構造を学習し、どのように処理されているかを学習する。 具体的には、以下のようなことを行う。 1 PCを分解しハードウェアの学習 2. プログラミングの学習 3. インターネットのしくみの学習
対象	コンピュータ（スマホ）の内部でどのようなことが行われているかに興味・関心のある者。
評価	授業・実習への取り組み、提出課題、出席状況などに加えて、定期考査も実施（予定）し、総合的に評価する。
備考	